

基礎研究医を 目指すあなたへ

**将来研究をしたいのに、ハードルが高い、キャリアの積み方がわからないと
思っていないませんか？**

基礎研究医養成活性化プログラムとは筑波大学、自治医科大学、獨協医科大学の3大学で連携しながら病理学を土台に病理学以外の研究室と協働して学生を育成していこうというプログラムです。

病理学はどんな病気であってもそれを理解するのに根本となる学問です。このプログラムでは病理学教室で病理診断学の研修をしながら、興味のある基礎医学研究室（3大学内の研究室、提携している国立がんセンター研究所 etc.）を選択し、自らの研究テーマを選ぶことができます。この際、病理学的素養を有することで自らの研究テーマに対して幅広くかつ奥深い視点を持つことが可能になります。

最終的な目標は病理専門医資格を持つ、基礎医学研究者となることです。このようにして本プログラムでは医師としてかつ研究者としてキャリアを積むことができます。

プログラム例

1期生 Y君：筑波大学大学院 数理物質科学研究科

1期生 H君：筑波メディカルセンター病院 剖検センター

2期生 U君：国立がん研究センター エピゲノム解析分野

基礎研究医養成活性化プログラム サマーセミナー2019スケジュール

日時
2019年
8月11日(日)
8月12日(月)

場所
筑波大学
健康医科学
イノベーション棟105



入場無料

病理学や法医学に興味のある学生さん、
初期研修医も気軽にお越しください。
基礎活性化プログラムに興味のある方は
webで
<http://www.md.tsukuba.ac.jp/diag/patho/basicscience/>

11日 病理学	
8:45-9:55	筑波大学 野口雅之 先生 「病理診断から基礎研究へ」
10:10-11:25	自治医科大学 仁木利郎 先生 「形態と分子からみた肺腺癌の多様性」
12:15-13:30	獨協医科大学 矢澤卓也 先生 「分子病理学から見た 神経内分泌腫瘍の組織発生」
13:45-15:00	自治医科大学 福嶋敬宜 先生 「膵胆道系腫瘍の病理診断と 解決すべき課題」
15:15-16:30	獨協医科大学 黒田 一 先生 「乳腺腫瘍 -病理診断からの視点」
16:45-18:00	筑波大学 坂本規彰 先生 「脳腫瘍分子病理診断WHO2016、 その先に目指すもの」
12日 法医学	
8:40-9:55	自治医科大学 坂本敦司 先生 「基本的な死体現象/解剖等に関する法律」
10:10-11:25	獨協医科大学 黒須 明 先生 「法医学からみた突然死」
12:15-13:30	筑波剖検センター 早川秀幸 先生 「死後画像診断」
13:45-15:00	日本医療安全調査機構 木村壯介 先生 「医療事故調査について ～事故の報告・収集制度と、少数でも深く 調査する制度について考える～」

お問い合わせ

筑波大学診断病理 教授 野口雅之(029-853-3750)
事務局 goto.emi.fu@un.tsukuba.ac.jp